

人のきずなと知恵で 新たな力を生み出す区政を！

平成15年第1回江戸川区議会定例会が、2月18日(火)から3月19日(水)までの会期で開催され、平成15年度当初予算案などの議案が慎重に審議されています。ここでは、本会議冒頭に行われた多田区長の招集あいさつの全文(1～3面)を紹介します。



平成15年第1回区議会定例会の開会にあたり、今後の区政運営について所信を申し上げます。

はじめに、去る1月23日逝去されました宇田川芳雄議員を偲び、生前の功績をたたえ、とともに、ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

もの中心から

心豊かな社会へ転換

さて、わが国の社会経済状況は、依然として不況脱出の糸口を見いだすことができず、混乱の度合いを深めております。これに加え、イラクや北朝鮮をめぐる国際的な緊張が高まり、その成り行きが大いに懸念されるところであります。

人類は、これまで長い間、豊富な物質に囲まれた「成長する経済」を求め続けてまいりました。その結果、富と貧

困の差が広がって、文明や民族の対立が浮きぼりになり、地球資源の枯渇や環境の悪化など、大きな課題を抱えたのであります。

これからは、多様な歴史と文化を持つ世界の国々と民が、今を共に生きるために、英知をかたむけ、力を合わせていく時代であります。

日本の国のあり方も、成長し続けることの限界が見えてきた現在、もの中心の価値観から、心豊かな精神に支えられた、人間中心社会への転換が何よりも必要であります。知恵と協働により、新たな力を生み出していく、心の文化の確立が望まれるのであります。

さて、本区においてもまた、厳しい経済状況が影響し、日々の暮らしに不安が少なくないのではありませんが、人口は前年比で7800人増加し、出生数もほぼ7000人と、23区でも際立った動向を示しております。本区の特長である若さあふれるそのエネルギーを、将来へのより逞しい力として育んでいかなければなりません。

また、地域の力の源泉は、住民同士の「人の絆」にあります。本区は人口64万を超える大都市でありながら、人のつながりが強固で、地域を愛する住民の大きなまとまりがあるという、すばらしい特質を持っています。

かつて水害のまちであった本区を、美しく風格のある住み良い都市へと進化させてきたのは、区民の心意気と絆であります。今を生きる私たちも、一層の連帯を強め、明日に向かう元氣と知恵を生み出したいと心から願っているの

であります。

区民生活を守りぬく

健全財政を推進

一方、区民の期待に応える区政運営は、未来を大きく見詰め、現実の社会情勢に柔軟に対応していかなければなりません。財政の逼迫は本区だけの問題ではありませんが、重要なことは、余力のない財政状況に追い込まれることのないように、将来を見通した健全財政推進のための改革に取り組むことでもあります。

本区では、いち早くこの改革を進め、4年間で250億円を超える大きな財政成果を生み出し、それを財源として毎年100を超える新規・拡充事業を展開して、区民生活の安心を支えてまいりました。景気の低迷で歳入の規模が落ち込む反面、人口増加・高齢化が歳出を押し上げる状況の中では、行政に代わる新たな力が必要であります。今、企業・公益法人・NPOなどの民間活力に良質なサービスを提供し、行政をスリム化していかなければなりません。

こうした区政の転換こそ、厳しい財政状況を克服し、区民



生きる喜びを

実感できる都市

さて、来年度は新長期計画の実質的なスタートとなる年で、時代の閉塞感を打ち破り、未来への新生の年としたいのであります。「共育」「協働」をキーワードとし、多くの区民の知恵と実践により、新時代へのうねりを生み出し、生きる喜びを実感できる都市の実現を目指してまいります。

平成15年度予算は、このような思いを込めて編成したものであります。以下、主要な施策とその内容について申し上げます。

新年度の主要施策

21世紀を担う人材を育てる

子育てひろば

青少年の翼

第一に、未来を担う人づくりについてであります。

本区の年少人口(15歳未満)は9万3000人で、23区で最も多く、区民の平均年齢は唯一30代を維持している、将来の躍動への期待を大きく感じさせるものであります。

このため、保育園の増設や、保育定員の拡大、認証保育所の開設による保育サービスの充実、所得制限のない乳幼児医療費無料化や私立幼稚園保護者の負担軽減など、積極的な子育て支

(2面へつづく)

新年度への 主な取り組み

未来に踏み出す 希望と活力の区政

区民生活を支えるまちづくり

都市基盤の充実・質の向上

区と区民の皆さんが一体となって、道路や公園などの都市基盤整備を進めてきました。さらに快適で安全な都市を目指し、暮らしやすく活力あふれるまちづくりを着実に推進していきます。

●都市基盤の整備

- ▷土地区画整理事業⇒9地区・275ヘクタール
- ▷災害に強いまちをつくる密集住宅市街地整備促進事業⇒9地区
- ▷都市計画道路の整備⇒9路線・11,599m(街路工事・用地買収など)
- ▷橋梁の整備⇒中平井橋の架け替え、新中川橋梁の新設

●地下駐輪場の整備

駅前などの放置自転車を防止するため、地下駐輪場を整備します。

- ▷一之江駅西口広場
⇒2,500台収容(16年度完成予定)
- ▷瑞江駅南口広場
⇒4,000台収容(17年度完成予定)
- ▷葛西駅東西広場
⇒実施設計



■一之江駅西口広場地下駐輪場

●水と緑のまちづくり

都市の貴重な資源である河川を活かす取り組みを進めます。

- ▷旧中川・新川・新中川の整備計画の策定
- ▷健康の道づくり⇒6路線（距離表示板や健康サインの設置）

◎土地区画整理事業、都市計画道路整備事業、地下駐輪場整備事業の経費は、その全額を国・都支出金、都区財政調整交付金の活用によって賄われています。

未来を築く健全財政推進への取り組み

区では、12年度から健全財政を推進する行財政改革に取り組んでいます。行政サービスの見直しや再構築、IT活用による組織のスリム化・効率化、民間活力の積極的な活用など、13年度からの4年間で250億円を超える経費節減を生み出しています。この財源をもとに新たな施策を展開し、毎年100以上の新規拡充事業を実現しています。

- ▷IT化など事務の効率化による区職員の削減(14年度⇒127人)
- ▷公設民営保育園や認証保育所の開設
- ▷学校給食の調理業務の民間委託(14年度 7校⇒15年度 21校)
- ▷民間人材による新設学童クラブの運営 など

厳しい経済状況のもと、人口の増加、高齢化の加速などによる行政需要の高まりに対して、区では積極的に行財政改革に取り組み、安心生活の向上に向けた区政を展開しています。

平成15年度は、新長期計画「えどがわ新世紀デザイン」の基本理念のもとに、新たな施策に取り組み、これまでの事業をさらに力強く推進するなど、「共育・協働・安心への道」を区民の皆さんとともに踏み出します。

今回の特集では、第1回区議会定例会に諮っている平成15年度予算案の主要事業を、子育て・福祉・まちづくりを中心に紹介します。

☎ 財政課 ☎ (5662)6148



いきいきと暮らすための福祉の充実

高齢の人々の生活支援

区民の皆さんの関心が最も高い熟年者福祉では、将来にわたる安心のシステムが求められています。このため、在宅での介護や健康づくりを進める施策を充実します。

●在宅型介護施設緊急整備事業の創設

在宅介護を支援する施設づくりを推進するため、民間事業者が建設する、短期入所施設、グループホームなどの整備費を補助します（都内で初めて）。

●熟年者への介護予防・自立支援

熟年者の皆さんが、日ごろの健康から介護予防、介護や生活支援のサービスまで、様々な相談や情報交換ができるよう、各保健施設が「健康サポートセンター」に生まれ変わり機能をさらに拡充します。

障害のある人々の生活支援

障害のある人々が区内で安心して暮らせる環境づくりや生活の支援など、充実した障害者施策を積極的に進めます。

●「障害者支援ハウス」の開設

障害者の自立生活を支援するため、身体・知的障害者サービス事業、ショートステイ事業、体験型生活寮、自立生活支援センターなどを備えた複合施設(旧常盤寮・中葛西二丁目)を4月に開設します。

●障害者(児) 歯科診療所の開設

江戸川区歯科医師会と連携し、障害者(児)の歯科診療所(江戸川五丁目)の16年度開設に向け、準備を進めます。

●知的障害者入所更生施設への助成

西一之江三丁目に社会福祉法人が建設(15年度開設)する入所更生施設(ショートステイ併設)の整備費を助成します。

福祉のまちづくり

子どもから熟年者、身体の不自由な方など、すべての人々が等しく利用でき、だれもが安全で快適に暮らしていける福祉のまちづくりを着実に推進します。

●バリアフリーの推進

- ▷歩道の段差解消・点字ブロック
⇒350か所(整備累計3,991か所)
- ▷バス停の改良⇒51か所(整備累計389か所)
- ▷音声誘導装置⇒10か所(整備累計62か所)

●区民施設・駅施設へのエレベーターの設置

総合体育館と葛西臨海公園駅にエレベーターなどを設置し、区内12駅すべてでバリアフリー化が整います。

●バリアフリーマップの作成

歩行の困難な方や視覚障害者のために、区内のバリアフリー情報を提供するマップを作成します。



松本俊吾さん
(江戸川区
盲人福祉協会会長)

区との意見交換やフィールドワークなどの積み重ねによって、道路や各施設のバリアフリーが進み、安心して出歩くことができるようになってきました。



加藤征男さん
(リハビリ
自主グループ代表)

以前に比べ外に出かけやすくなりました。これからすべての人々に等しくやさしいまちとして、さらにバリアフリーが促進されていくことがうれしいですね。



積極的子育て支援

新規・拡充事業

●「子育てひろば」事業の充実

4月から、健康サポートセンターに「子育てひろば」を開設して、親子が自由に遊び、交流し、子育てに関する相談や情報交換のできる場を拡充します。

●すくすくスクールの実施

様々な学年の子どもたちが交流し、遊びや学習など思い思いに過ごす「新たな形態の放課後児童健全育成・学童保育の場づくり」を、地域の方々の協力をいただき鎌田小学校で実施します。



●小学校選択制の導入

15年度から実施する中学校に引き続き、小学校での16年度導入に向けて、学校案内の作成・説明会・希望調査などを行います。

これまでの事業も力強く推進

●乳幼児医療費助成

0歳～6歳(小学校就学前)の乳幼児を対象に、健康保険により診療を受けたときの医療費自己負担分をこれまでどおり全額助成(所得制限なし)します。

●私立幼稚園等保護者負担軽減

私立幼稚園および類似施設にお子さんを預けている保護者の負担を軽減するため、保育料(月額26,000円)などをこれまでどおり補助します。

●保育園などの定員枠拡大

- ▷私立保育園⇒87人増(27園・3,266人⇒28園・3,353人)
- ▷認証保育所⇒4施設増(9施設⇒13施設)

●延長保育の充実

- ▷区立保育園⇒6園・120人増(6園・120人⇒12園・240人)
- ▷私立保育園⇒1園・20人増(20園・355人⇒21園・375人)

●サポート保育の拡大

教育時間外に在園児の保育を行うサポート保育、1日単位のショートサポート保育の実施をすべての区立幼稚園(4園⇒6園)に拡大します。

●ファミリーサポート事業

子育てのお手伝いをしたい方(協力会員)と頼みたい方(依頼会員)が会員となり、地域で子育ての助け合いを行います。

健康文化都市えどがわ

健康大好き

江 戸 川 保 健 所 ☎(5661)1122
小 岩 保 健 セ ン タ ☎(3658)3171
葛 西 保 健 相 談 ☎(3688)0154
清 新 町 保 健 相 談 ☎(3878)1221
小 松 川 保 健 相 談 ☎(3683)5531
な ぎ さ 保 健 相 談 ☎(5675)2515
東 部 保 健 相 談 ☎(3678)6441
鹿 骨 保 健 相 談 ☎(3678)8711

特に記載のない場合は、費用は無料です

今月の健康ファミリー



大杉四丁目にお住まいの野村さんからお寄せいただきました。《7人の孫に囲まれてご満悦のおじいちゃん、おばあちゃんです＝下段左から龍くん（2歳）、英功くん（2歳）、有輝くん（4歳）、中段左から幸子さん、一二さん、佳奈ちゃん（4歳）、上段左から浩くん（9歳）、望くん（7歳）、崇志くん（9歳）》

医学メモ

安全なゴルフにも落とし穴

ゴルフは安全なスポーツとして若い人から中高年にいたるまで幅広く親しまれていますが、そのゴルフにも落とし穴があります。ゴルフ場における突然死や捻挫・骨折などです。

現在、全国には約2600のゴルフ場がありますが、一つのゴルフ場で毎年2、3人が突然死で亡くなっています。主な原因は脳卒中（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）と心臓発作（心筋梗塞・狭心症など）です。

では、その突然死はどういう場合に起こるかというと、①グリーン周りのアプローチミスの後、②スタートホールでのティーショットの後、③風呂場での駆け込み入浴の瞬間、④グリーン上でのパットミスの後、⑤優勝したときの二次会の帰り、などとなっています。

実験によると、どのケースも血圧が瞬間的に60ぐらい跳ね上がるので心臓や脳に大変負担をかけることになりま

す。それほどゴルフでは、前後の深酒・寝不足は

は期待感と結果との落差の大きい、ストレスの多いスポーツなのです。ストレス解消のために行くゴルフ場で不幸なことになっては意味がありません。

では、どうしたら突然死を予防できるでしょうか。まず、アマチュアゴルファーであることを肝に銘じ、テレビで見るとようなスリーショットを期待しないこと。次に、ゴルフを無理のないスポーツと甘くみないで、前後の深酒・寝不足は

◎これまでの医学メモは、江戸川区医師会ホームページ[http://www.edogawa-med.or.jp/]をご覧ください。

江戸川区医師会

春のポリオ（小児マヒ）

予防接種のお知らせ

日程・会場 下表のとおり
受付時間 13時30分～14時30分
対象 ①14年5月1日～10月31日に生まれたお子さん／②13年11月1日～14年4月30日に生まれたお子さん／③7歳6か月未満でポリオワクチン1回目・2回目を終了していないお子さん
※①②に該当する方には、3月下旬に接種票を郵送します。届かない方は、お問い合わせください。
※③に該当する方で接種票をお持ちでない方には、保健所・保健センター・保健相談所で接種票を発行します。母子手帳をご持参ください。

日程		会場（小学校）	
8日（火）	西葛西・北小岩	西葛西・北小岩	
10日（木）	清新第二	清新第二	
11日（金）	篠崎・第四葛西	篠崎・第四葛西	
14日（月）	一之江・第六葛西	一之江・第六葛西	
15日（火）	小松川・鎌田	小松川・鎌田	
16日（水）	宇喜田・第三松江	宇喜田・第三松江	
17日（木）	南葛西・第四葛西	南葛西・第四葛西	
21日（月）	下鎌田・篠崎第五	下鎌田・篠崎第五	
22日（火）	葛西・平井	葛西・平井	
23日（水）	船堀・松江	船堀・松江	
24日（木）	小岩	小岩	

◎接種を受けられないお子さん
さん・麻しん・風しん・おたふくかぜ・BCGなど
◎次回のポリオ予防接種は10月に行う予定です。

どの生ワクチン予防接種を受けてから4週間、DPT・日本脳炎などの不活化ワクチン予防接種を受けてから1週間を経過していないお子さん。

こころの健康相談《予約制》

心の悩みや痴ほう、そのほか精神保健全般について、専門医が個別に相談に応じます。最寄りの会場へ電話で申し込め

プレママ・クッキングセミナー

妊娠中の適切な食事は、赤ちゃんの順調な発育やお母さんの産後の回復などにとっても大切です。これからお母さんになる方、ぜひどうぞ。
日時 3月11日（火）13時30分～16時
内容 妊娠中の食事ポイントと目安量／鉄分・カルシウムを無理なくとる簡単料理・実習・試食／食事診断
持ち物 エプロン・三角きん
定員 30人（先着順）
申・会場 3月3日（月）9時から
電話で、東部保健相談所



神経難病相談

進行性筋萎縮症・パーキンソン病などの神経難病の方やその疑い（しびれ、麻痺、歩行・言語・えん下障害、筋力低下）のある方が対象です。脳卒中の後遺症や変形性骨関節症疾患の方はご遠慮ください。
日時 4月3日（木）13時30分～15時
会場 江戸川区医師会館
内容 専門医による診察・療養相談
定員 5人程度
申問 3月3日（月）～10日（月）に電話で、江戸川区医師会 ☎(3652)3166＝9時～17時

休日応急当番接骨院

▷施術時間は、午前9時から午後5時までです。
3月 寺内接骨院 西小松川町37-16 ☎(3656)3610
2日 白坂接骨院 北小岩6-3-5 ☎(3658)2181
3月 むらた接骨院 松江4-13-10 ☎(3655)6235
9日 江戸川駅前接骨院 北小岩4-35-10 ☎(5693)3286

がん検診

問 健康部推進係 ☎(5661)2462

種 類 ・ 対 象	受 診 方 法 ・ 会 場
胃がん〔X線間接〕 治療中・妊娠中（可能性含む）の方を除く	30歳以上 電話予約し、月～土曜に医療検査センターへ予約電話 ☎(5676)8818 予約受付時間（祝日を除く）月～土曜 9時～16時
乳がん〔超音波〕 〔触診〕妊娠中（可能性含む）の方を除く	診療日・診療時間内に区内指定産婦人科へ
子宮（頸）がん〔細胞診〕 体がんは50・55歳の方と医師が必要と認めた方に実施	▷保健所・保健センター・保健相談所 ☐月～金曜 ▷医療検査センター ☐月～土曜 ▷区内指定医療機関 ☐診療日
大腸がん〔便潜血反応〕 〔問診〕各会場で検便の容器を受け取り、採便後提出してください	直接医療検査センターへ 月～土曜 9時～11時 13時～15時
肺がん〔X線間接〕 〔喀痰検査〕妊娠中（可能性含む）の方を除く	
前立腺がん〔血液検査〕 60～63歳	

※受診日は祝日を除く。結果通知は1か月以内に郵送。

休日急病当番医

▷診療時間は、午前9時から午後5時までです。
▷休日診療は、急病のみ受け付けます。往診は行いません。
▷外科は救急指定病院をご利用ください。
▷当番医（変更になる場合もあります）、救急指定病院の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
・テレホンセンター ☎(3651)5270 } =9時～17時
FAX(3654)4902
・東京消防庁テレホンサービス ☎(3212)2323＝24時間
・東京都保健医療情報センター ☎(5272)0303 } =24時間
FAX(5285)8080

3月2日

内小児科	小岩診療所 北小岩6-8-13 ☎(3673)2857 徳永医院 南小岩3-10-10 ☎(3657)4652 南小岩クリニック 南小岩7-5-18 ☎(3657)2982 那波医院 篠崎町1-145 ☎(3679)3296 申孝園診療所 一之江6-19-18 ☎(3652)9860 とおるクリニック 瑞江2-3-1 ☎(5664)8020 葛西循環器脳神経外科病院 東葛西6-30-3 ☎(5696)1611 いなげ小児クリニック 平井5-24-10 ☎(3613)7667 小児 安田医院 西瑞江1-41-16 ☎(5666)7038 眼 今井耳鼻咽喉科医院 平井3-22-22 ☎(3681)2887 耳鼻
------	---

3月9日

内小児科	太田医院 松江3-19-17 ☎(3656)1450 西平医院 北小岩3-1-19 ☎(3657)2732 吉岡医院 南小岩5-16-8 ☎(3657)1037 塚本医院 東小岩5-32-10 ☎(3657)0864 伊谷医院 鹿骨5-11-1 ☎(3679)3992 西村病院 平井3-25-17 ☎(3638)2301 内 松江2-1-19 ☎(5663)7111 小児 西葛西6-6-1 ☎(5658)3601 ひろつ小児科 松島3-39-6-202 ☎(3652)2108 眼 原眼科 松江2-1-20 ☎(3656)3387 耳鼻 梅澤医院
------	---

休日歯科応急診療

3月2日・9日

▷あらかじめ休日専用電話（3672）8215で申し込みの後、受診してください。
▷診療時間は、午前9時から午後5時までです。（受付時間は、午後4時30分まで）

